

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

令和 5 年度第 2 回四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和 5 年 12 月 5 日(火) 15 時 30 分～17 時 5 分
2. 場所 徳島大学常三島キャンパス教養教育 4 号館 4 階 4 0 4 会議室
遠隔 (Zoom ミーティング)
3. 出席者
対面参加：[徳島大学] 寺田教授、大薮准教授、瓜生助教 [鳴門教育大学] 阪東准教授、
田中准教授 [愛媛大学] 平野教授、尾國教授、原本准教授
[高知大学] 佐々教授
[香川大学] 高橋教授、林教授、宮崎教授、藤澤特命講師
遠隔参加：[高知大学] 菅原特任講師、李特任講師
[香川大学] 吉田副学長、久保特命講師
陪 席 者：[徳島文理大学] 松本准教授、山本教授、[四国大学] 長沼教授、池田教授
[松山東雲女子大学] 小西教授、[阿南工業高等専門学校] 松本教授
[文部科学省] 奥井課長補佐、[四国経済産業局] 田村係長、合田係長
[徳島大学] 大村部長、岩森課長、齋藤副課長、小倉係長、
[鳴門教育大学] 大林係長、三室係員 [愛媛大学] 石川研究補助員、
越智事務補佐員、[高知大学] 西村課長、福島係長、晦日係員、
[徳島文理大学] 細川課長、多田係長、安藝係長
[香川大学] 角田課長、澤井再採用職員、松本事務補佐員、中村技術補佐員、
萬本事務補佐員

開会に先立ち、高橋議長（香川大学）より挨拶があった。また、司会進行は、高橋議長の指名により林教授（香川大学）が行うこととなった。

4. 議題

(1) リテラシーレベル認定状況とコンソーシアム入会状況について

高橋議長から、議題資料 1 に基づき四国ブロック内のリテラシーレベルの認定状況とコンソーシアムの入会状況について説明があった。また、リテラシーレベルの未認定とコンソーシアム未入会の大学等の状況について幹事校より報告があった。その後、高橋議長からリテラシーレベルについては認定校も増え、一定の成果が見えてきたが、今後は認定を継続させることが課題であり、教材の工夫等について運営会議で検討し助け合っていきたいとの発言があった。

(2) 応用基礎レベルの認定について

高橋議長から、議題資料2に基づき四国ブロック内の応用基礎レベルの認定について説明があった。応用基礎レベルの認定について、今後新しい取組ができないか四国ブロック内で検討していきたいとの発言があった。

(3) 西日本アライアンス PBL について

尾國教授（愛媛大学）から西日本アライアンス PBL について、議題資料3に基づき西日本アライアンスの成り立ちや、愛媛大学や高知大学の PBL の取組について報告があった。大薮准教授（徳島大学）から、愛媛大学の PBL については、単位制度はどのようになっているかとの質問があり、尾國教授から2単位付与の集中講義としているとの回答があった。また、宮崎教授（香川大学）からは、学生のアイデアを実現させるために教員がコントロールし課題解決に導くのかとの質問があり、尾國教授から、タイミングを見ながら気づきを与える形でフォローしているとの回答があった。また、奥井課長補佐（文科省）から西日本アライアンス PBL の場合は、愛媛大学教員はどのような役割を担っているのかとの質問があり、尾國教授から、ファシリテーターのような役割を担っているとの回答があった。

(4) 四国経済産業局との連携について

高橋議長から議題資料4に基づき北海道経済産業局と北海道大学の実務家教員派遣プログラムと令和5年度上半期の四国経済産業局との連携について説明があり、今後は北海道経済産業局と北海道大学の実務家教員派遣プログラムを参考としてフォーマットの作成から検討していきたいとの提案があった。また、奥井課長補佐から四国経済産業局に対し四国ブロック内で①DX人材は充足しているのか、②企業はどのようなデジタル人材を求めているのか、③実務家教員として人材を輩出できるような企業はあるのか、との質問があり、田村係長（四国経済産業局）から、①DX人材は不足している、DX化を進めたい企業ほど多層的な人材配置を希望している。②企業により様々ではあるが、経済産業省が策定した「デジタルスキル標準」を基礎として身につけた人材と考えている。③現状は難しいが、今後は中小企業の共通部分に注目して実務家教員輩出に向け、取組を検討していきたい。との回答があった。

(5) 令和6年度四国ブロック活動計画について

高橋議長から議題資料5に基づき四国ブロックの令和6年度の活動計画について説明があった。次年度のカリキュラム編成に間に合うように上半期に愛媛県でワークショップと運営会議を開催するとの提案があり、次回運営会議で決めることとなった。

(6) その他

1) 高等学校における「情報Ⅰ」の必修化対応について

宮崎教授から、議題資料6に基づき香川大学の取組について説明があった。また、大藪准教授から、徳島大学では教科書の解析など始動しているとの報告があった。

2) 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック令和5年度シンポジウム・総会について

高橋議長から、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック令和5年度シンポジウム・総会は令和6年3月6日(水)に開催予定との周知があった。

閉会挨拶 寺田教授(徳島大学)から、閉会の挨拶が述べられた。

以上